

恋塚寺こひづかは小枝こえだの南八町なんはちばかりばかりにあり。〔堂だうの南なんに塚づかあり〕銘めいに曰いは、渡辺わたなべ左衛門尉ざゑもんゑい源げん 渡わた 妻つま袈裟げさ御前ごぜん秀玉しゅうぎよく 善尼ぜんに墓はか

〔天養元甲子年六月廿四日、文覚上人もんかく開基、恋塚根元こいづかねもとの地、嘉応二庚子年かおうにこうし建立とあり〕

遠藤武者盛遠ゑんどうむしやもりとほ〔出家しんげして文覚上人もんかく〕渡わたが妻つまに恋慕こいぼして、千束ちくの文ぶんを寄よるに、其言そのことばに随したがひ渡わたが姿すがたと成なり、盛遠もりとほに斬きられ、貞

女の操まことを躡たづす事世ことよのしる所ところなり。